



70th

愛知県立
明和高等学校音楽科
ANNIVERSARY PROJECT

音楽科案内 2020



すべては未来に響く感性のために

昭和23年の学制改革により愛知県立明倫高等学校と愛知県立第一女子高等学校が統合され、愛知県立明和高等学校となりました。その2年後の昭和25年、音楽科が新設され、県立で唯一音楽科のある高校となりました。



音楽科主任 谷津 理恵子

新たな音楽科の旅立ちに寄せて

春、校庭から漂う花の香りに包まれ、新学期がスタートします。

始まってすぐにも関わらずドキドキはらのうちに「わくわくコンサート」が行われます。

夏、気持ちは「専攻実技試験」や「サマーコンサート」に向けてグッと高まります。

秋を迎え、本校では「定期演奏会」に向けて、より一層熱気にあふれます。

冬は風邪と闘いながら「公開専攻実技試験」を経験します。仲間とともにアンサンブルをしたり、音楽を語り合ったり、日々の練習で行き詰まり涙を流しながら、時を重ね皆さんはだんだん明和高校の音楽科色に染まっていくのです。

音楽科は今年、創立70周年を迎えます。

この大きな節目に関わる皆さんは、とても幸運だと思います。明和高校音楽科の先輩たちによって築かれた伝統を絶やすことなく、新たな歴史を刻んでいってください。

この70周年メモリアルイヤーを、更なる未来へと続く『始まりの年』にしましょう。

卒業生からのメッセージ「音楽科創立70周年に寄せて」



亀居 優斗

東京藝術大学卒業
東京佼成ウインドオーケストラ
クラリネット奏者

音楽家になりたい。そんな志を持っている人には明和高等学校音楽科はとても充実した空間でしょう。経験豊富な先生方、充実したカリキュラムや練習環境…音楽科での学びの素晴らしさはたくさんありますが、私が一つ良かったと思うことをあげるならば、それは音楽家を目指す“同志”に出会えたことです。管楽器専攻だと一般高校や吹奏楽部が盛んな高校に通い、音大に進学する人もたくさんいますが、明和高等学校音楽科ではピアノや弦楽器、声楽といった他の学校では出会うことのできない沢山の個性溢れる同志に出会うことができます。そんな彼らと3年間、切磋琢磨しあえたことで私は一人では知ることのできなかった世界を知り、経験し、学ぶことができたかけがえのない三年間となり、今にも生きる大きな糧となりました。そしてそこで生まれた友情は生涯消えることのない大切な絆となるでしょう。音楽科での学校生活はこれから始まる音楽家人生の大事な一歩に繋がることと思います。貴方も明和高等学校音楽科で音楽を奏でてみませんか？



竹本 規矩也

東京藝術大学卒業
九州交響楽団コントラバス
奏者

まずはじめに、創立70周年誠におめでとうございます。そしてこの記念すべき年の「音楽科案内」に載せていただく事をとても嬉しく思います。

卒業してもう15年…今思い返すと、もし明和高校音楽科で先生方と出会わなかったら、私の人生は全く違うものだったと思います。

私はピアノ専攻で入学しました。明和高校音楽科ではソルフェージュや和声、音楽史など普通科目以外の専門的な授業があり、あと自分の専科以外の楽器を選択し3年間レッスンを受ける「副科」というものがあります。

私は中学校時代、吹奏楽部に所属しコントラバスを弾いていたので、特に考える事もなく同じ楽器を選択したのですが、毎週のレッスンが待ち遠しかったのを覚えています。なぜなら、それまで専攻のピアノでしかレッスンを受けた事はありませんでしたし、専門以外の楽器ではほぼ初心者の学生がプロの方のレッスンを受ける事が出来るのは刺激的でとても楽しかったからです。

1年生の秋、その私を見ていた先生方から突然コントラバスに転科したらどうかと打診されました。当時相当楽しそうに弾いていたんだと思います。笑

転科の手続きやその後の勉強、大学受験の準備などとても大変でしたが、当時の担任の先生含め多くの先生方の支えがあり、あっという間でした。楽しく充実した高校生活を送ることが出来ました。

今こそオーケストラに在籍していますが、高校入学当初はそういう将来は全く考えていませんでした。そう考えると音楽科の高校を受験する、入学するという事は、ある程度自分の将来を決めてしまう事かもしれません。

しかしその3年間、音楽の専門的な授業を受けることが出来ますし、その姿を音楽家の先輩である先生方が注意深くずっと見て下さっている。

そして何よりも、どこかで自分にとって「とても楽しいもの」が見つけられるかもしれません。そう思うと、とてもワクワクしませんか？！



北村 朋幹

ベルリン芸術大学卒業
ピアニスト

どのような場所で過ごしたとしても、高校時代の3年間というのは人生に於いても最も重要な時期の1つでしょうし、そこで経験した全てのことはその後本格的にはじまる「独立した1人の人間」としての生活やその思考を、かなり直接的に作るような気がします。

音楽家というのはかなり特殊な人種で、仕事は基本的に一人きりでかなりの長時間、そこで向き合っているものは、何世紀も前にどこか遠い国の誰かが、個人的な感情を託して書き留めた記号の数々。確かに自分は世の中に存在しているはずだけれども、常にどこか違う世界に生きているように感じることが多々あります。

いつの間にか卒業から10年も経った今、自分の明和高校音楽科での3年間を振り返ってみると、その特殊な人々が当たり前の世界の住人となる直前に、その言葉の最良の意味で「普通の」生活を送ることの出来た最後の良い時間でした。

音楽にまつわる思い出はその後の人生でも数多くありますが、なんてことのない、くだらないような、しかしふとした瞬間に真っ先に思い出するような出来事に溢れていました。

音楽には、表現している本人ですら気が付かないような、その人の本質があらわれます。

学んだことはさることながら、あの毎日の中で感じていた些細なあらゆる事が、今の自分の音楽をきっと彩ってくれているのだと思います。

創立70周年、おめでとうございます。



中川 真耶加

東京音楽大学卒業
ピアニスト

まずは、音楽科創立70周年おめでとうございます。

朝練から始まる高校生活を送っていたのがもう10年も前。今この文章を書く私は、その当時の想像を超える時の波に背中を押されているように感じます。

何と言っても素晴らしい先生方が揃っているのは明和高校音楽科の魅力で、その温かく学生思いの先生方は、家族のように何でも相談できる存在でした。1学年40人程の少人数であればこそこの密なコミュニケーションと、一人ひとりの個性を引き出す指導により、私たちはのびのびと生活できていたと思います。また、生徒ではなく同じ演奏家として接して下さることで、音楽と向き合う姿勢、厳しさ、そして楽しさをも見て学びました。

共に切磋琢磨し、励ましあふつかりあい、時にはふざけ、何度も叱られた個性豊かな友達もとても特別で、今でもかけがえのない存在です。

卒業後も、音楽と向き合い、心が何度も折れかけました。そんな時、大好きな仲間たちと語り合った日々、先生方の音楽に心から感動した瞬間、それらを思い出してはまた前を向いて歩きだしてきました。長い音楽人生で3年間はあっという間ですが、その大事な思い出は一生私の心の中で輝いていくでしょう。

コンサート

毎年7月にサマーコンサート、12月に定期演奏会を行います。いずれの演奏会も、校内のオーディションによって選ばれた生徒が出演しますが、サマーコンサートはソロを主体、定期演奏会は、ソロに加え、アンサンブル、音楽科全員が出演する合唱・合奏があります。

●本年度のコンサート

子どものためのわくわくコンサート シリーズ5 (中止)

5月9日(土) 第1部11:00開演/第2部13:30開演

守山文化小劇場 ゲスト: 梶川真歩(本校卒業生・NHK交響楽団)

第13回サマーコンサート(非公開)

8月7日(金) 時間未定

三井住友海上しらかわホール

第69回定期演奏会(要整理券)

12月12日(土) 時間未定

三井住友海上しらかわホール

入場整理券お申込方法

84円切手を貼り
宛先を書いた封筒を、
各コンサートの整理券希望と
明記した封書に同封のうえ、
音楽科宛てにお申し込み
ください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。



公開講座

国内外から、一流の演奏家、音楽教育者を招いて公開レッスン、演奏を行います。国際レベルの演奏が校内で聴けたり、レッスンを受けるチャンスもあります。

また近年は、校外のオペラ、バレエ、能楽等の公演にも出かけています。

●レッスン

ピアノ…水本 雄三、神西 敦子、A. コックス、井内 澄子、橋本 英二、
A.P. ロジェ、弘中 孝、松浦 豊明、ボト・レヘル、北住 淳、M. クリストフ、
J.E. ティボーデ、R.M. ボーンケ、J.M. ルイサダ、K. カウフマン、A. ヤンシン、
D. ヨッフエ、K. ドラフィ、R. ケラー、イムレ・ローマン、神谷 郁代、
アンナ・マリコヴァ、ブルーノ・リグット、カルロス・ロドリゲス、中井恒仁
M. ヴォスクレセンスキー、エリック・ル・サージュ、菊池 裕介、海老 彰子
声楽…東 敦子、林 ひろみ
フルート…カトリヌ・カンタン

邦楽講座…大久保 智子、渡辺 峨山
(箏・三味線・尺八)

オルガン講座…椎名 雄一郎

文楽講座…竹本 三輪大夫、竹澤 団吾

アンサンブル・伴奏法…三ツ石 潤司

音楽家の為の運動療法…イザベル・カンピオン

ソルフェージュ講座…マルク・ケネル

令和元年度

ピアノ公開レッスン

横山幸雄(3回シリーズ)

芸術鑑賞「リゴレット」

(愛知県芸術文化センター)

公開講座

オルフェウス室内
管弦楽団との交流会



●演奏

ピアノ…H.G. ミルヴィス、井上 二葉、D. ヨッフエ、T. ハザイ

ピアノデュオ…テュンデ・クルツ、イムレ・ローマン

ヴァイオリン…M. ヴァイマン、V. フデチュク

チェンバロ…佐久間 緑

クラリネット…武田 忠善

打楽器アンサンブル…小田もゆると仲間たち

声楽…E.M. ハザイ(ソプラノ)、望月 哲也(テノール)

バロックダンス…浜中 康子

能…「小鍛冶」「葵の上」喜多流/長田 驍(名古屋能楽堂)

雅楽…天王寺楽所雅亮会(愛知芸術文化センター)

文楽…冥途の飛脚、菅原伝授手習鑑 他(名古屋芸創センター)

オペラ…「セヴィリヤの理髪師」「魔笛」「トスカ」「ラ・ボエーム」
「トゥーランドット」(愛知芸術文化センター)

バレエ…「ル・パルク」(愛知芸術文化センター)

歌舞伎…「仮名手本忠臣蔵」(御園座)

オペレッタ…「こうもり」(愛知芸術文化センター)

文化庁助成 邦楽(長唄)鑑賞講座…福原 寛、味見 純 他

バロックアンサンブル…長瀬 正典(リコーダー)、

桐山 建志(バロックヴァイオリン) 他

能楽体験および鑑賞…能「葵の上」、

狂言「仏師」(名古屋能楽堂)

専攻実技試験

専攻実技試験は年に2回あり、2・3年の後期試験は広いホールでの演奏体験を増やすために、校外のホールを借りて行います。

教育課程表(令和2年度入学生)

	普 通 科 目								専 門 科 目								特別活動			
1 年次	国語総合 4		地理A 2	数学Ⅰ 3	体育 2	保健 1	コミュニケーション 英語Ⅰ 4		家庭 基礎 2	楽典 2	音楽史 1	ソルフェージュ 4		専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱奏 2			
2 年次	現代 文B 2	古典B 2	世界 史A 2	科学と 人間生活 2	体育 3		保健 1	コミュニケーション 英語Ⅱ 4		和声法 2	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 4		専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱奏 2	重唱・重奏 1	
3 年次	現代 文B 2	古典B 2	現代 社会 2	物理 基礎 2	体育 2	コミュニケーション 英語Ⅲ 3		英語 表現Ⅰ 2	情報の 科学 2	対位法 1	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 4		専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱奏 2	重唱・重奏 1	
総合的な探究の時間																				
H R 1																				

- 表の数字は単位数で1単位とは週1時間の授業です。
- センター試験に代わる「大学入学共通テスト」にも対応できるように一般教科の授業も充実しています。
- カリキュラムは若干の変更を行うことがあります。

- 副科実技は必修副科(ピアノ専攻の人は声楽、それ以外の専攻の人はピアノを履修)と選択副科(専攻以外の管弦打和楽器や、ドイツ語、フランス語、イタリア語から各自で選択履修)が1単位ずつです。
- ソルフェージュは視唱奏、聴音ともグレード別授業です。

音楽科授業科目、公開講座について ～生徒からのメッセージ(令和元年度生)～

▶ 専攻実技レッスン

高校のレッスン室。その扉の向こうに自分の音楽が表現できる大切な場所があります。私にとってピアノレッスンとは、尊敬する先生方のご指導から音楽を一心に追求し、新たな世界を知る特別な時間です。ピアノの他にもソルフェージュや合唱奏、楽典や副科などの授業を通じて、様々な視点から音楽を学ぶことができます。日々、周りの友達や先輩方から良い刺激を受け、人として、また音楽家としても共に成長することができます。皆さんもぜひ明和高校の音楽科で素敵な音楽を奏でてみませんか？

〈1年／ピアノ専攻〉

大好きなピアノを学ぶため、明和高校音楽科に入学しました。1週間に1度の専攻のレッスンは練習が大変で忙しい時もありますが、レッスン前はいつもワクワクします。専攻の先生のレッスンを受けると、曲に魔法がかかったように表現豊かな演奏ができるようになります。期日までに曲を仕上げなくてはならなかったり、指導を受けた内容を練習によって磨いていったりするのは時間も体力も必要としますが、とても達成感があります。同じ志を持った仲間とその思いを共有でき、尊敬する先生方にも恵まれ、とても充実しています。

〈3年／ピアノ専攻〉

1週間に1回50分の専攻レッスンは一番大切な時間です。声楽のレッスンでは、発声と曲を2、3曲やります。1週間で先生にアドバイスをいただいた発声の仕方や指摘された箇所を直して、レッスンに挑みます。上手に歌えたと実感できた時には、少しずつでも上達しているのだ！ととても嬉しい気持ちになります。そしてその感覚を忘れないように意識しています。専攻のレッスンは実技の向上のために本当に身になる楽しい時間です。

〈2年／声楽専攻〉

1週間に1度だけの専攻レッスンは、50分という短い時間ですが、どんな授業よりも緊張し、集中し、熱中します。先生は、技術的なことだけでなく、自分の表現したい音楽を様々な方法で教えてくださいました。また、毎回のレッスンで新たな発見と課題があり、いつも刺激を受けます。思うように演奏できない時も、クラスメイトと切磋琢磨しながら練習に励んでいます。一途に自分の音楽を磨くと、新しい感情に出会えることができ、今後の人生を豊かにしてくれると本当に思います。私は何物にも代え難い、充実したこの時間が大好きです。

〈2年／ヴァイオリン専攻〉

私がこの高校に入りたいと思った最も大きな理由は、専攻のレッスンがあることです。だから、専攻のレッスンの時間を、1週間の中で一番大切にしています。同じ専攻の人が一人もいないですが、唯一自分一人だけではない環境でトロンボーンと向き合うことができるのが、専攻のレッスンでした。また何よりも、尊敬する先生に教えていただけて、とても大切な時間だと感じています。クラスの誰もが自分の専攻を大切にしているこの環境で音楽を学べることに、とても感謝しています。

〈3年／トロンボーン専攻〉

▶ 音楽理論(楽典・和声・対位法)

音楽理論では、1年次に楽典、2年次に和声、3年次に対位法を学びます。いずれも音楽を奏でる上で欠かせない知識やルールです。理論を学ぶことで音楽をより多角的に捉えられるようになり、自分の視点が広がります。「でも理論ってなんだか難しそう……。」大丈夫！先生方は実際の演奏にも生かせるよう、わかりやすく、時におもしろい工夫の凝らされた授業をして下さいます。さあ、あなたも音楽の奥深さにハマってみませんか。

〈3年／ピアノ専攻〉

▶ ソルフェージュ(視唱奏・聴音)

音楽科目の授業の中には、自分の基礎的な音楽力を高める「ソルフェージュ」という授業があります。ソルフェージュの授業は週に4時間あり、主に視唱、視奏、聴音を行います。毎回のテストごとに課題が変わり、それが3年間くり返されるので、応用力が身につきます。また、それぞれのレベルに合わせてクラス分けされる為、自分に必要な授業を受けることができます。大学受験にむけて更にレベルアップできるようになっていると思います。

〈3年／ピアノ専攻〉

▶ 重唱奏

重唱奏の授業には、ソロとは別の楽しさや発見があります。相手と一緒に一つの曲をつくりあげていく中で、相談したり、意見を言い合ったりすることはとても刺激的で、自分自身の演奏を振り返るきっかけにもなります。また、自分とは違う音色をもった相手とのアンサンブルによって、まるでオーケストラのような多彩な響きの重なり合いを感じることもできま

す。自分の音だけではなく相手の音も聴かなければならない、など難しさもありますが、こうした学びが必ずソロの演奏の成長にも繋がっていくと思います。

〈3年／ピアノ専攻〉

▶ 演奏研究

演奏研究の授業は音を奏でる上で「なぜだろう?」と思う所からスタートです。疑問を持った事を納得がいくまで調べ、発表をし、みんなで調べた事を共有し合います。共有し合うことで、新たな発見や演奏する上で悩んでいたことへのヒントがでてきたりします。興味のある事を追求する事により、自分の音づくりに生かしていけます。これからも知りたいと思う事にひとつひとついねいに向き合い、音楽の知識を深めていきたいです。

〈3年／サクソフォン専攻〉

▶ 合唱

音楽科主催の定期演奏会で披露する合唱は、1年から3年のピアノと声楽の専攻者約90名で演奏します。毎年定期演奏会の合唱を目標にきて下さる方もいらっしゃるので、期待に応えられる演奏をするため、週に2時間の授業に集中して取り組んでいます。代々、先輩から受け継がれた美しいハーモニーと音色、今年で終わってしまうかもしれない混声合唱の迫力をぜひ、定期演奏会に聴きにきて下さい!!

〈3年／声楽専攻〉

▶ 合奏

合奏の授業は、唯一の3学年が合同で受ける授業です。合奏の授業では、大勢の人と合わせる楽しさや難しさ、合奏を行ううえで大切なことを学ぶことができます。12月の定期演奏会に向けて、日々練習を重ねていきます。普段は別々で練習をしている弦楽器と管打楽器が、オーケストラとして合同で授業を受けることもあります。〈3年／ヴァイオリン専攻〉

▶ 音楽史

みなさんは演奏する時にどんなことを考えていますか。また、音楽を聴いている時にどんなことを考えていますか。音楽史の授業を受けると、作曲家や作品について、自分が今まで考えていなかった視点からたくさんの知識を得ることができます。授業で得た知識によって自分の視野が広がると、演奏する時や音楽をきいている時に新しい発見があります。言葉として得た知識を、音楽という言葉ですべてを表せないものに変換することは、計り知れない楽しさがあります。ぜひこの感覚を味わってみませんか。

〈3年／ピアノ専攻〉

▶ 必修副科(声楽・ピアノ)

● 声楽…明和高校では専攻だけでなく、副科である声楽のレッスンも毎週あります。3年間を通してさまざまな曲を学ぶことができ、自分の苦手とする部分やのびずべき部分を的確に先生が教えてくださいます。中学校の音楽の時間で行われるものとは違って、個人に見合ったレッスンが受けられます。脱力をするためのトレーニングによって、専攻のピアノでも脱力が少しずつ出来るようになり、音の質に変化がつけられるようになりました。専攻の曲や作曲家に対する知識を深く、濃くするための材料ともなと思います。

〈3年／ピアノ専攻〉

● ピアノ…私は副科ピアノのレッスンの時間が好きです。週に1回、30分と限られた時間ですが、その時間の中で、表現の仕方や指の動かし方など色々学べます。副科ピアノの試験にはグレードがあり、自分のレベルに合わせて曲を選びます。グレードが上がると曲の難易度も高くなりますが、思ったように弾けた時や、レッスンで先生に褒めていただいた時はとても嬉しいです。試験を受けた後は新しい課題が見つかり、「頑張りよう」と更にやる気が出ます。

〈2年／サクソフォン専攻〉

▶ 選択副科(管弦打楽器・和楽器・チェンバロ・作曲・言語音声トレーニング)

● チェンバロ…チェンバロのレッスンは古楽を理解するためのとても貴重な時間です。この楽器にはペダルがなく、また強弱の変化がつけられません。ペダルと音量に頼れない分、表情をつけて演奏するためには、指のタッチの加減、音の切れ方、効果的な装飾音の入れ方、和声進

行、各声部の弾き分けなどを常に意識する必要があります。しかし、現代のピアノに慣れている私にとって、それはとても難しく感じました。また同時に、私がピアノで表情をつけようとする時に、ペダルと音量の変化にかなり頼っているということに気が付くことができました。レッスンでは、チェンバロの弾き方はもちろんですが、バロック時代の歴史や特徴なども学ぶことができます。そして、ピアノで演奏するときにも、チェンバロのレッスンで学んだことを活かすことで、表現の幅が広がり、より表情豊かに演奏できるようになったと思います。専攻している楽器だけでなく、色々な角度から音楽を吸収し、深めていくことが大切だと改めて思いました。

〈3年／ピアノ専攻〉

● チェロ…小学生の時に、ジュニアオーケストラで2年間チェロを勉強する機会に恵まれました。その時の楽しさが忘れられず、第2副科まで選択できる明和高校を目指しました。ブランクがあった私には、フォームや弓の持ち方といった基礎からのやり直しでしたが、きちんと教わることで、弦楽器の性質を理解することができました。それは専攻のピアノを演奏する時の具体的なイメージづくりに役立ちました。チェロは重たい楽器ですが、一台で4つの音域を表現できる素敵な楽器です。

〈3年／ピアノ専攻〉

● フルート…私は中学の時から吹奏楽部でフルートを吹いていましたが、選択副科があるおかげで、フルートを続けることができ、レッスンも楽しく勉強になっています。私はピアノ専攻ですが、フルートの呼吸はピアノの演奏にもとても役立っています。副科試験ではピアノ専攻の友達に伴奏をしてもらい、アンサンブルできることがとても楽しいです。

〈3年／ピアノ専攻〉

● 作曲…作曲をするには、楽典、和声法、対位法、そして楽曲分析といった、専門的な知識や技術が必要になります。そしてそのどれもが、演奏をする上で必要不可欠です。それらは非常に高度な内容で、作曲を始めた頃は、何をどのようにすれば良いのかが分かりませんでした。僕は、音楽の事を四六時中考えるようになりました。和声法を学び、作曲の先生に取り次いで貰って、対位法も学ばせていただきました。そうやって努力しているうちに、僕の作る曲を良いと言ってくれる人が現れました。そして僕は、作曲をする喜びというのを感じました。地道な努力を続けて創り上げた曲は、自分にとって特別なものになります。

〈3年／ピアノ専攻〉

● 和楽器(箏)…自分の専攻楽器以外のことを勉強する機会があると、これから自分が進んでいく音楽にプラスになると思います。普段の生活で和楽器の知識に触れることはなかなかありませんでしたが、副科の「箏」を選択し、続けていくと、和楽器「箏」についての数々の知識を得ることができます。準備、片付けの仕方、音程の調整、曲に出てくる技のやり方、姿勢など、一から分かりやすく、そして細かく教えて下さります。慣れていない楽器ということもあり、一つの曲を弾けるようになるまでたくさんの苦労はありますが、その分曲が弾けるようになった時は達成感もあり、喜びを感じます。

〈2年／サクソフォン専攻〉

● ドイツ語…ドイツ語の授業はI、IIと分かれていて、Iで基礎を学んだ次年度にIIを取ることで、より深くドイツ語を学ぶことができます。「こんにちは」「さようなら」などのあいさつや、自己紹介と基本的な会話を学び、友達や先生とたくさん会話をし耳で覚えます。また教科書を使って文法やドイツという国についても学びます。先生がドイツで暮らしていた時の話も聞けて、とても楽しいです。他言語を学び多くの知識を身に付けることで、自分の音楽もより豊かになると思います。

〈3年／トランペット専攻〉

▶ 公開講座

公開講座では外部の先生を学校にお招きしたり、校外に赴いたりもして、公開講座や専攻の公開レッスンをしていただきます。公開講座ではソルフェージュや体の使い方、アンサンブルを作り上げる過程を聴講する講座などを受けました。公開レッスンでは今までとは異なる視点からのご指摘を受けたことで、自分の足りなかったことは何なのか再確認し、視野を広げることができました。自分の専攻のレベルアップはもちろん、音楽に対する姿勢も学ぶことができるこの時間は、音楽の道を志す人たちにとって必ずためになります。

〈3年／ピアノ専攻〉

音楽科説明会

ウィルあいちにて音楽科の教育方針、学習の実際、入試の概要について説明します。同日、音楽棟の見学も可能です。

令和 2 年度は 7 月 11 日(土) 詳細は説明会チラシ、またはホームページをご覧ください。

入試について ～29年度から入試制度が変わりました～

出願資格と手続

1. 中学校を卒業した者、及び令和 3 年 3 月中学校卒業見込の者。
2. 原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
3. 令和 3 年度出願手続は、愛知県教育委員会から発表される、令和 3 年度「愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」を参照し、さらに本校の発行する、令和 3 年度「明和高等学校音楽科特別選抜実施要項」を取り寄せて内容を熟読すること。(例年11月下旬～12月初旬に発行される)

*実施要項の発行、入試の日程等は、本校HPで確認できます。

専攻別検査 2 年度実施例(参考) 内容は変更されることがあるので注意！

募集人員 40名 専攻別定員は設けない

1. ピアノ専攻志望者	(ア) ピアノソナタ(第 1 楽章又は終楽章)作曲者の限定はしない (イ) 練習曲 チェルニー 40番 CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.299 チェルニー 50番 CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.740 クラマー=ビューロー 60の練習曲 CRAMER=BÜLOW 60 ausgewählte Etüden モシュコフスキー 15の練習曲 MOSZKOWSKI 15 Études de Virtuosité Op.72 上記(ア)、(イ)について、それぞれ任意の 1 曲を暗譜演奏する。 一般選抜 推薦選抜 (ウ) J.S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集より フーガ 推薦選抜 J.S.BACH Das Wohltemperierte Klavier(Fuga)任意の 1 曲を暗譜演奏する。
2. 声楽専攻志望者	(ア) コンコーネ 50番 一般選抜 推薦選抜 CONCONE 50 Lessons Op.9 任意の 1 曲を母音唱で暗譜演奏する。(高声用と中声用のいずれでもよい) (イ) 任意の独唱曲 1 曲を暗譜演奏する。 一般選抜 推薦選抜 (ウ) 任意のピアノ曲 1 曲を演奏する。 推薦選抜
3. 弦・管・打楽器専攻志望者	(ア) 任意の独奏曲 1 曲を暗譜演奏する。 一般選抜 推薦選抜 (イ) 音階又は基礎打ち 推薦選抜 音階については、譜面上 ♯、♭ それぞれ 2 つまでの長短調を課題 とし、当該高等学校長が定める特別検査(音楽科)実施要項による。 (ウ) 任意のピアノ曲 1 曲を演奏する。 推薦選抜 *注 1 …弦・管楽器については、通常オーケストラに使用する楽器に限定する。打楽器については、小太鼓又は、マリンバに限定する。

聴音及び新曲視唱

一般選抜 **推薦選抜**

旋律聴音、和声聴音(四声体による)及び新曲視唱を行う。

一般選抜、推薦選抜ともに、同一の検査内容とする。

その他に、学力試験、面接が実施される。詳しくは愛知県教育委員会のHPを参照のこと。

専攻別生徒数

	声 楽		鍵盤楽器		弦楽器		管打楽器		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 年	0	4	2	25	0	0	1	5	3	34	37
2 年	0	5	1	20	1	3	1	9	3	37	40
3 年	0	3	2	20	0	4	0	10	2	37	39
合計	0	12	5	65	1	7	2	24	8	108	116
	12		70		8		26				

施設・設備

第1演奏室、第2演奏室、オーディオ理論室、普通音楽室、資料室、楽器庫、レッスン室(14)、ピアノ練習室(15)、アンサンブル練習室(1)、コンサートグランドピアノ(スタインウェイ)(4)、グランドピアノ(36)、アップライトピアノ(8)、パイプオルガン練習用電子オルガン、フレンチダブルマニユアルハーブシコード(アトリエ・フォン・ナーゲル社製)、合奏弦楽器一式、ソルフェージュ用キーボード(21)、コンサートマリンバ(2)、ティンパニ、その他打楽器、箏(4)

最近の大学入試合格者数状況

大 学 名	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年
東京芸術大学	5	5	2	6	4	4
愛知県立芸術大学	17	15	9	16	8	9
京都市立芸術大学	1	0	0	0	0	0
その他の国公立大学	1	1	0	0	0	2
桐朋学園大学	2	4	5	6	5	4
東京音楽大学	4	5	10	6	9	1
フェリス学院大学	0	1	0	0	0	0
国立音楽大学	3	2	2	0	3	2
武蔵野音楽大学	0	0	1	0	0	0
名古屋音楽大学	8	9	11	10	9	10
名古屋芸術大学	4	0	3	0	3	2
金城学院大学	9	8	4	13	8	10
そ の 他	2	3	3	4	4	4
海 外 留 学	1	0	0	2	2	2

音楽科教員

校長 木 村 誠

音楽科担当教職員

●専 任

主任/声楽
谷津理恵子ピアノ
高橋 知子音楽学
齋藤 大輔サクソフォン
堀江 裕介声 楽
吉田早千穂

●非常勤講師

ピアノ

伊藤 美江 岩野めぐみ
梅田 智也 奥村 真
尾関 佳奈 兼松 千里
兄玉 典子 清水 敦子
清水 皇樹 鈴木真貴子
関本 昌平 柘植 暁子
都築 美佳 戸谷 誠子
中根 浩晶 西 典代
丹羽つね子 長谷川 淳
廣澤 純子 広野 和子
扶瀬絵梨奈 宮田 俊雄
鈴木 美香 萩野砂和子
江塚由佳子 神田 豊壽
勝野恵美子 福井 友香
平康 悦子

チェンバロ
声 楽

指揮

ヴァイオリン
チェロ
コントラバス
合 唱
合 奏
フルート
オーボエ
クラリネット
サクソフォン
トランペット
打 楽 器
箏

塚田 隆雄
市川絵理子
西村 洋美
石橋 隆弘
榊原 利修
神田 豊壽
石橋 隆弘
榊原 利修
大西 圭子
寺島 陽介
橋本 真介
片田 景子
宮本 弦
和泉 正憲
大久保智子

加藤 瑞木
横田真規子
星野 順一
石橋 玲子
田中 文恵
竹内 梓

ソルフェージュ

河野 恭子 櫻井ゆかり
白井稚佳子 鈴木 真衣
田島知佐子 柘植 暁子
福井 友香 扶瀬絵梨奈
栗本 洋子 櫻井ゆかり
河野 恭子
鈴木 美香 中根 國夫
シュミッツ・エルケ
ダヴィー・デュベール
ブンドック・アナスタージャ

作 曲
理 論
演奏研究
ドイツ語
フランス語
イタリア語

音楽科の1年

4月	入学式 始業式
5月	9日(土) 子どものためのわくわくコンサート(中止)
6月	定期考査 公開レッスン 専攻実技試験(サマーコンサートオーディション)
7月	11日(土) 音楽科説明会(ウィルあいち)
8月	7日(金) サマーコンサート(非公開) 夏季特別レッスン
9月	学校祭 美術展鑑賞 定期考査～10月
10月	22日(木) SSH記念講演会 公開講座
11月	13日(金) 定期演奏会公開オーディション 定期考査～12月 遠足(1、3年)楽器工場見学 修学旅行(2年)山陽・山陰方面
12月	12日(土) 第69回定期演奏会(三井住友海上しらかわホール)
1月	20日(水) 3年公開専攻実技試験(三井住友海上しらかわホール)
2月	2日(火) 2年公開専攻実技試験(電気文化会館 ザ・コンサートホール) 1年専攻実技試験(校内) 定期考査
3月	1日(月) 卒業式 終業式



入学式



修学旅行



慰問演奏



定期演奏会



体育祭



子どものためのわくわくコンサート

コンクール 実績

第70回 全日本学生音楽コンクール
フルート部門 高校の部 第1位および横浜市民賞 齋藤 華香

第71回 全日本学生音楽コンクール
ピアノ部門 高校の部 第1位および横浜市民賞 亀井 聖矢

第72回 全日本学生音楽コンクール
声楽部門 高校の部 第1位 前田ひより 他多数

愛知県立 明和高等学校

〒461-0011 名古屋市東区白壁二丁目32番6号
TEL: 052-961-2551 FAX: 052-953-6348
ホームページ <http://www.meiwa-haichi-c.ed.jp/>
e-mail ongakuka@meiwa-haichi-c.ed.jp

アクセス

- ◎名鉄・瀬戸線「東大手」県庁・市役所方面出口から東へ徒歩約1分
- ◎名古屋市営地下鉄・名城線「市役所」1番出口から東へ徒歩約5分
- ◎名古屋市営バス「市役所」、「清水口」または「明和高校前」下車

